活用の手引き

校種（小学校）　　学年（１）年　　教科名（算数）
１　単元・教材名 いくつといくつ
２　指導目標 10 の合成・分解を理解する。
３　ＩＣＴ活用のポイント 授業場所　□コンピュータ室　■普通教室　□その他（　　） 授業形態　■一斉学習　□グループ学習　□個別学習　□補習 ＩＣＴを活用する場面　□導入　■展開　□まとめ　□その他（　　） ＩＣＴを主に活用するもの　■教員　□児童・生徒 ＩＣＴを活用する目的　■課題の提示　□動機付け　□教員の説明資料 □繰り返しによる定着　□モデルの提示　□体験の想起 □比較　□振り返り　□その他（　　）
４　授業の流れ 【導入】　学習内容を知る。 【展開１】　画面を通して 10 までの数を読む。（ＩＣＴ教材の活用） 【展開２】　画面を通して 10 の数を分解する。（ＩＣＴ教材の活用） 【まとめ】　10 の数の分解をまとめる。
５　成果と課題 ＩＣＴ教材を提示することで、視覚的に１０の色々な構成をとらえることができた。
６　指導のポイント 数図ブロックなどを利用し、算数的活動を取入れるようにする。学習した後も、ゲームなど様々な学習場面を通して、十分な習熟を図っていく必要がある。